平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	5 ー 3

1　事務事業の表示

※　■　：　該当

事務事業名	保健活動車更新事業					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		保健係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	山崎佳之		氏名	佐々木希美枝
事業の概要	老朽化した保健活動用車両を更新することで家庭訪問・健康相談等の保健事業の継続及び充実を図る。					

全体計画	/単年度繰返	
（平成	23 年度～	年度）
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	1,700 千円
	事業費計	1,700 千円

実施方法	■ 直営	民間委託	その他（　　）

第５期総合計画（前期）	■ 登載事業	非登載事業	優先度	B

事業の位置付け			
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～
	基本施策	6	保健・医療の充実
	単位施策	1	主体的な健康づくりの促進
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務
	その他計画・根拠等		

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（実績）	24年度（見込）
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	1,654 千円	千円
	合計	千円	千円	千円	1,654 千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	生活習慣やライフサイクルに起因する様々な健康課題がある。	必要な活動車両の確保状況		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	保健事業を利用することで健康課題の解決や軽減が図られる。	① 更新した車両の台数	目標年度	平成23年度
			目標値	1 台
			実績値	1 台
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	健康的で町民自らがが希望する生活を送る方が増える。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
保健活動用車両の更新	使用年数が長期に渡り老朽化した車両を更新した。

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	保健事業を実施する上で、家庭訪問や町内各所の会館へ出向いて事業を実施する事が重要であり、車両の確保が必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	旧車両の状態は老朽化により運行に支障をきたしていたが、車両を更新することで安全な運行が可能となり保健事業を円滑に進めることができた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	保守管理費や燃費等も考慮して効率的な車両に更新することができた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	すべての町民に対する保健事業に公平に活用できる。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
計画通り事業を進め目標を達成した。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
今後も計画的に老朽化した車両の更新を行い保健事業の充実を図る。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）